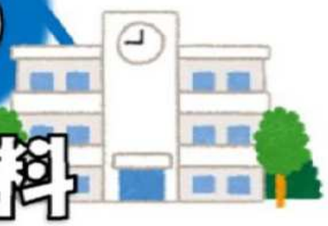
浜松市版

つながる



カリキュラム参考資料

令和6年10月発行
浜松市こども家庭部　幼保運営課
浜松市教育委員会　学校教育部　教育センター

目　次

○就学前施設で経験する遊びや活動
【資料①】・・・・砂や水、土や泥に触れて（感触を楽しむ）
【資料②】・・・・砂や水、土や泥に触れて（友達と一緒に）
【資料③】・・・・ふれあい遊び（ゲーム）
【資料④】・・・・ごっこ遊び（ままごと遊びからお店屋さんごっこへ）
【資料⑤】・・・・製作遊び（空き箱や容器を使って）
【資料⑥】・・・・運動会（行事）
【資料⑦】・・・・係の活動（生活の場を整える）
【資料⑧】・・・・めあてをもって取り組む遊び（お正月遊びや体づくりなど）
【資料⑨】・・・・花や野菜を育てよう
【資料⑩】・・・・リズム遊び（音を聞いて体を動かす）
【資料⑪】・・・・園外散歩（交通ルールを守りながら）
【資料⑫】・・・・自然に触れて
【資料⑬】・・・・絵本に親しむ
【資料⑭】・・・・ルールのある遊び（体を動かす遊び）
【資料⑮】・・・・生き物を育てよう

設置主体や施設類型に関わらず、幼稚園、保育所、こども園等において、５歳児後半で経験することが多い遊びや活動を選定し、その中での学びや育まれる資質・能力について記載しています。

スタートカリキュラム

○生活科とのつながり

時期	生活科の単元項目例	関連する資料
１学期	「みんなよろしくね」	【資料③】
	「みんなであそぼう」	【資料⑭】
	「がっこうでみつけたことをつたえよう」	【資料⑬】
	「きれいなはなをさかせよう」	【資料⑨、⑫、⑮】
	「つうがくろをあるこう」	【資料⑪】
	「みずであそぼう」	【資料①、②】
２学期以降	「あきをさがそう」	【資料⑫】
	「いきものとなかよし」	【資料⑮】
	「あきのおもちゃをつくろう」	【資料⑤】
	「あきのおもちゃであそぼう」	【資料④】
	「ふゆをたのしもう」	【資料⑫】
	「あたらしい１ねんせいにつたえよう」	【資料⑬】

○他教科とのつながり

教科		教科単元項目例	関連する資料
国語科		「どんな おはなしかな」	【資料⑬】
		「しらせたいな みせたいな」	【資料⑮】
		「おおきくなったよ」	【資料⑨】
算数科		「いくつといくつ」	【資料③】
		「もののかたち」	【資料⑤】
体育科		「かけっこ・リレー」	【資料⑥】
		「表現リズム遊び」	【資料⑩】
		「体づくりの運動遊び」	【資料⑧】
		「ボールゲーム・おにあそび」	【資料⑭】
音楽科		「うたであそぼう」	【資料③】
		「おんがくにあわせてうごこう」	【資料⑩】
図画工作科		「いろいろなはこから」	【資料⑤】
		「ごちそうパーティをはじめよう」	【資料④】
		「すなやつちとなかよし」	【資料①、②】
道徳科		「たのしいまいにち」（価値項目：節度、節制）	【資料⑦】
		「みんないきてる」（価値項目：生命尊重）	【資料⑮】
特別活動	学校行事	交通安全教室	【資料⑪】
		運動会	【資料⑥】
		遠足	【資料⑫】
	学級活動	クラスにはどんなしごとがあるかな？	【資料⑦】
		わくわく発表会を楽しもう	【資料⑩】

浜松市幼児教育の指針では、
Ⅰ自分のことを自分でする力
Ⅱ人と関わる力
Ⅲ身近なものや出来事と関わる力 を
「幼児期に育てたい力」の3つの柱にしています。

Ⅰ　自分のことを自分でする力

協同性

自立心

健康な心と体

道徳性・規範意識の芽生え

【資料②】砂や水、土や泥に触れて（友達と一緒に）

【資料⑦】係の活動（生活の場を整える）

【資料⑥】運動会（行事）

【資料⑭】ルールのある遊び（体を動かす遊び）

社会生活との関わり

【資料⑧】めあてをもって取り組む遊び（お正月遊びや体づくりなど）

【資料⑪】園外散歩（交通ルールを守りながら）

【資料①】砂や水、土や泥に触れて（感触を楽しむ）

【資料④】ごっこ遊び（ままごと遊びからお店屋さんごっこへ）

【資料⑩】リズム遊び（音を聞いて体を動かす）

言葉による伝え合い

【資料③】ふれあい遊び（ゲーム）

【資料⑤】製作遊び（空き箱や容器を使って）

【資料⑨】花や野菜を育てよう

思考力の芽生え

【資料⑮】生き物を育てよう

【資料⑫】自然に触れて

【資料⑬】絵本に親しむ

自然との関わり・生命尊重

数量・図形、文字等への関心・感覚

豊かな感性と表現

Ⅱ　人と関わる力

言葉による伝え合い

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量・図形、文字等への関心・感覚

豊かな感性と表現

Ⅲ　身近なものや出来事と関わる力

浜松市版「つながる」カリキュラム参考資料
（浜松市公式 HP 内へ移動します）

浜松市版 つながる カリキュラム参考資料

～活用マニュアル～

就学前施設編　小学校編①　小学校編②

～説明動画～
YouTube

生活科

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を育む。

国語科　どんなおはなしかな
しらせたいな みせたいな
おおきくなったよ

算数科　いくつといくつ
もののかたち

音楽科　うたで あそぼう
おんがくにあわせてうごこう

体育科　かけっこ・リレー
表現リズム遊び
体づくりの運動遊び
ボールゲーム・おにあそび

図画工作科　いろいろな はこから
ごちそうパーティーを はじめよう
すなやつちと なかよし1
すなやつちと なかよし2

道徳科　たのしい まいにち
みんな いきてる

特別活動

～学校行事～
交通安全教室
運動会
遠足

～学級活動～
クラスにはどんなしごとがあるかな？
わくわく発表会を楽しもう

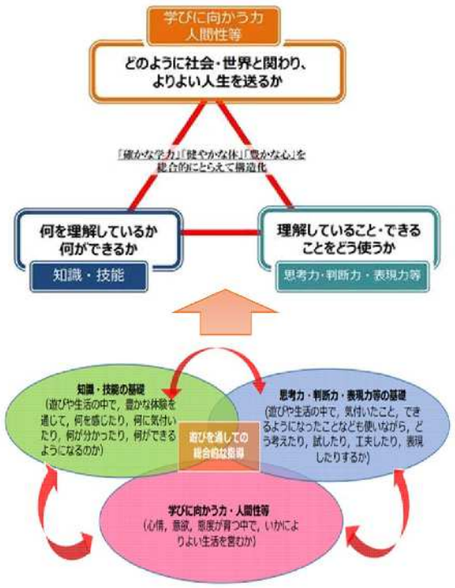
参考資料活用マニュアル　～就学前施設編～

育みたいのは「資質・能力」です！

この活動を通して育てたいのは「資質・能力」ってことか！
子供たちがどんなことを感じてどんなことを学んでいるのかをしっかり見ていこう！
幼児教育では小学校教育で育みたい**資質・能力の基礎**を、総合的に指導をしていくことを忘れないようにしよう！
特に関連している 10 の姿の項目に◎がついているんだね！

小学校教育

幼児教育



環境を通して行う教育

乳児期から接続期まで学びはつながっています！

接続期である５歳までに、さまざまな経験を積み重ねてきているんだな…
乳児期～幼児期の学びのつながりが見える！担当している学年の上と下の学年のことを知ることで、声の掛け方が分かってくるよ。

浜松市幼児教育の指針「幼児期に育てたい力」
リーフレット・教職員用指導資料

資料①

遊びや場面	砂や水、土や泥に触れて（感触を楽しむ）
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・戸外に連れて行ってもらうことを喜ぶ。 ・沐浴を通して、全身でお湯や水に触れる気持ちよさを感じる。
１歳	・水に触れる心地よさを感じる。
２歳	・自分から関わろうとする。 ・水や土、泥の感触を味わう。
３歳	・いろいろな素材に触れる。（指絵の具、小麦粉粘土など） ・泥で見立て遊びをするようになる。
４歳	・砂や水の冷たさを感じる。 ・感触の違いを楽しむようになる。
５歳前半	・全身で関わる楽しさを感じる。（泥遊びなど）

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・砂や土、泥などの感触を楽しむ。 ・用具を使って水を流して遊ぶ中で、自然の法則に気付いたり、砂や水がもつ特性に気付いたりする。	・遊びの中で気付いた砂や土の特性を使って、試行錯誤しながらつくり、表現する喜びを感じる。 ・想像力を働かせて、様々なものに見立てる。	・全身で感触を楽しみながら遊びの中で、解放感を感じ、情緒が安定する。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
	◎	○	○			○	◎	◎	○	◎

遊びや学びのプロセス

・スコップや手をつかい、山をつくったり、トンネルを掘ったりして楽しむ。
・水の量や使う用具も自分たちで選び、水と素材（砂、土など）との組み合わせや水の流れを楽しむようになる。

環境・援助のポイント

・遊ぶ内容によって用具を選べるように、ペットボトル、バケツ、じょうろ、雨どいや塩ビ管などを十分に用意しておく。
・砂は可塑性があり、うまくいかなくても何度も繰り返し挑戦することができるため、一緒に遊ぶ仲間とできた喜びを感じたり失敗した時に一緒に考えたりしていく。

小学校のスタートカリキュラム	生活科「みずであそぼう」 図画工作科「すなやつちとなかよし」

就学前施設で経験したことが、小学校の生活科やいろいろな教科の学びにつながっているのか！

環境構成が大切です！

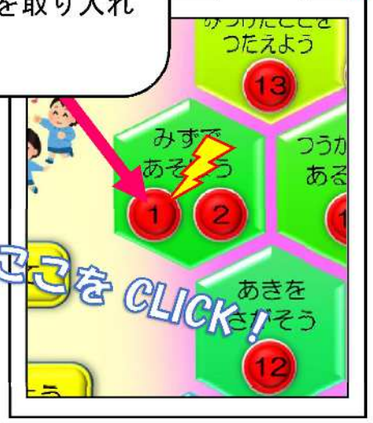
環境を通して行う教育

幼稚園、保育所、こども園等の施設類型に関わらず、幼児教育で大切にしたいことは共通です。

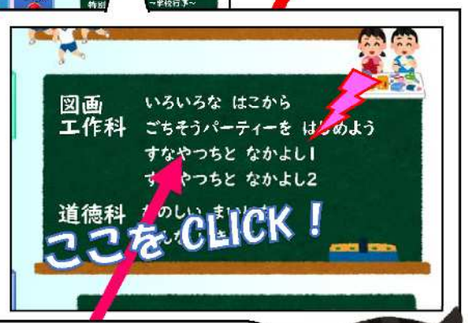
幼児期にふさわしい生活が展開され、遊びを通して総合的な指導が行われるようにすることや、一人一人の特性に応じた指導が行われるようにすることが必要です。

参考資料活用マニュアル　～小学校編①～

初めて一年生の担任になりました…
子供たちはそれぞれどのような経験をしてきたのかなぁ？



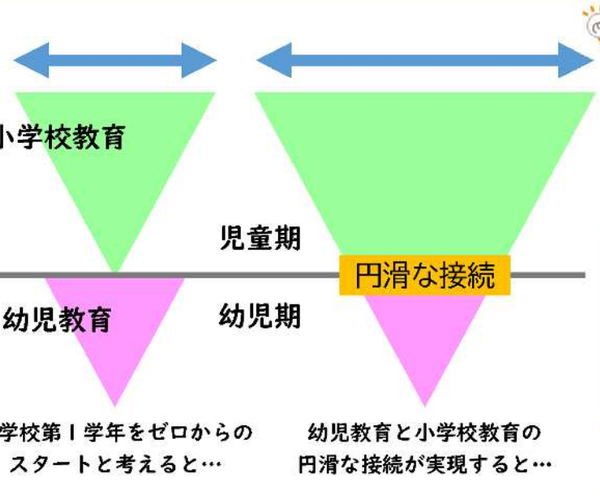
小学校って楽しいなって思ってもらうには…
幼稚園や保育所などでやっていたことを取り入れてみよう！



図画工作科で造形遊びをしたいけれど、幼児期にはどのような経験をしてきたのかな？

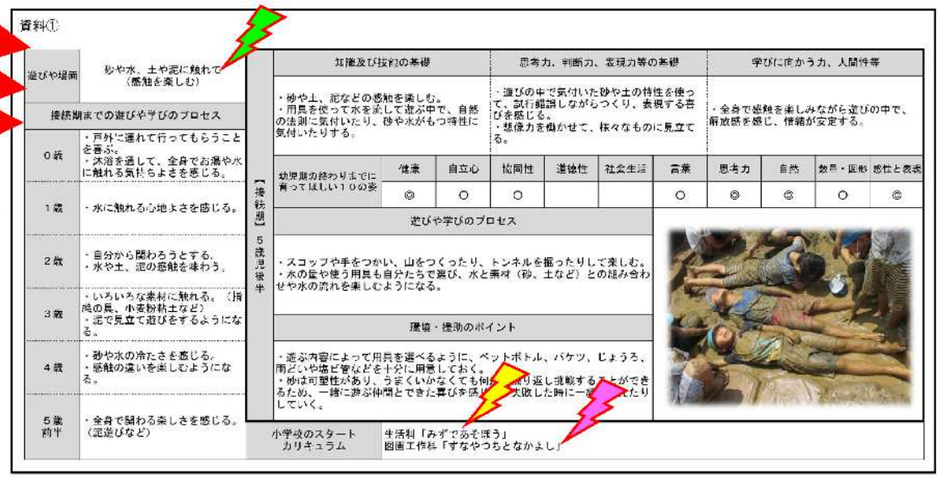
１年生はゼロからのスタートではない！

小学校に入学してくる子供たちは、幼児期に遊びを通してたくさん学んできています。

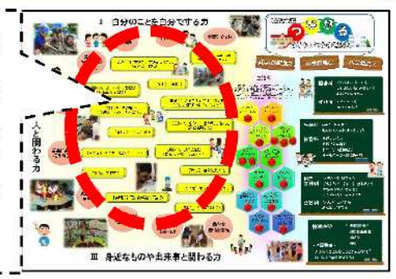


スムーズに小学校教育に接続することで、子供たちの成長が見られるね！

幼小接続に関する参考資料
【文部科学省国立教育政策研究所】



設置主体や施設類型に関わらず、幼稚園、保育所、こども園等において、**５歳児後半で経験することが多い**遊びや活動を選定し、その中での学びや育まれる資質・能力について記載しています。



参考資料活用マニュアル　～小学校編②～

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿とは

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形，標識や文字などへの関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現

○10 の姿を念頭において、一人一人の発達に必要な体験が得られるような状況をつくったり、必要な援助を行ったりします。

○10 の姿は、「✕到達目標ではありません」「✕個別に取り出して指導するものではありません」

○５歳児だけでなく、０～４歳児の時期から、乳幼児が発達していく方向を意識して、それぞれの時期にふさわしい指導を積み重ねていくことに留意が必要です。

幼児教育と小学校教育をつなぐ手掛かりとなります

資料①

		知識及び技[illegible]基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
遊びや場面	砂や水、土や泥に触れて（感触を楽しむ）	・砂や土、泥などの感触[illegible]楽しむ。 ・用具を使って水を流し[illegible]遊ぶ中で、自然の法則に気付いたり、砂[illegible]水がもつ特性に気付いたりする。	・遊びの中で気付いた砂や土の特性を使って、試行錯誤しながらつくり、表現する喜びを感じる。 ・想像力を働かせて、様々なものに見立てる。	・全身で感触を楽しみながら遊びの中で、解放感を感じ、情緒が安定する。
接続期までの遊びや学びのプロセス				
０歳	・戸外に連れて行ってもらうことを喜ぶ。 ・沐浴を通して、全身でお湯や水に触れる気持ちよさを感じる。			
１歳	・水に触れる心地よさを感じる。			
２歳	・自分から関わろうとする。 ・水や土、泥の感触を味わう。			
３歳	・いろいろな素材に触れる。（指絵の具、小麦粉粘土など） ・泥で見立て遊びをするようになる。			
４歳	・砂や水の冷たさを感じる。 ・感触の違いを楽しむようになる。			
５歳前半	・全身で関わる楽しさを感じる。（泥遊びなど）			

【接続期】５歳児後半

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
	◎	○	○			○	◎	◎	○	◎

遊びや学びのプロセス

・スコップや子をつかい、山をつくったり、トンネルを掘ったりして楽しむ。
・水の量や使う用具も自分たちで選び、水と素材（砂、土など）との組み合わせや水の流れを楽しむようになる。

環境・援助のポイント

・遊ぶ内容によって用具を選べるように、ペットボトル、バケツ、じょうろ、雨どいや塩ビ管などを十分に用意しておく。
・砂は可塑性があり、うまくいかなくても何度も繰り返し挑戦することができるため、一緒に遊ぶ仲間とできた喜びを感じたり失敗した時に一緒に考えたりしていく。

小学校のスタートカリキュラム	生活科「みずであそぼう」 図画工作科「すなやつちとなかよし」

文部科学省が作成した
架け橋プログラムに関する
資料、動画コンテンツ

幼児期の遊びを通した学びと小学校の教科学習や活動での学びのつながりをより詳しく知ることで、円滑な接続が期待されます。各教科における授業展開例が文部科学省 HP に載っています。

出典：文部科学省「令和６年度　幼児教育担当指導主事・担当者及び幼児教育と小学校教育との接続に関する担当指導主事会議」にて

浜松市こども家庭部 幼保運営課
浜松市教育委員会 学校教育部 教育センター

資料①

遊びや場面	砂や水、土や泥に触れて （感触を楽しむ）
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・戸外に連れて行ってもらうことを喜ぶ。 ・沐浴を通して、全身でお湯や水に触れる気持ちよさを感じる。
１歳	・水に触れる心地よさを感じる。
２歳	・自分から関わろうとする。 ・水や土、泥の感触を味わう。
３歳	・いろいろな素材に触れる。（指絵の具、小麦粉粘土など） ・泥で見立て遊びをするようになる。
４歳	・砂や水の冷たさを感じる。 ・感触の違いを楽しむようになる。
５歳 前半	・全身で関わる楽しさを感じる。 （泥遊びなど）

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・砂や土、泥などの感触を楽しむ。 ・用具を使って水を流して遊ぶ中で、自然の法則に気付いたり、砂や水がもつ特性に気付いたりする。	・遊びの中で気付いた砂や土の特性を使って、試行錯誤しながらつくり、表現する喜びを感じる。 ・想像力を働かせて、様々なものに見立てる。	・全身で感触を楽しみながら遊びの中で、解放感を感じ、情緒が安定する。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
	◎	○	○			○	◎	◎	○	◎

遊びや学びのプロセス

・スコップや手をつかい、山をつくったり、トンネルを掘ったりして楽しむ。
・水の量や使う用具も自分たちで選び、水と素材（砂、土など）との組み合わせや水の流れを楽しむようになる。

環境・援助のポイント

・遊ぶ内容によって用具を選べるように、ペットボトル、バケツ、じょうろ、雨どいや塩ビ管などを十分に用意しておく。
・砂は可塑性があり、うまくいかなくても何度も繰り返し挑戦することができるため、一緒に遊ぶ仲間とできた喜びを感じたり失敗した時に一緒に考えたりしていく。

小学校のスタート カリキュラム	生活科「みずであそぼう」 図画工作科「すなやつちとなかよし」

文部科学省作成　参考資料

資料②

遊びや場面	砂や水、土や泥に触れて （友達と一緒に）
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・戸外に連れて行ってもらうことを喜ぶ。 ・沐浴を通して、全身でお湯や水に触れる気持ちよさを感じる。
１歳	・水に触れる心地よさを感じる。
２歳	・自分から関わろうとする。 ・水や土、泥の感触を味わう。
３歳	・水遊びや泥遊びを友達や保育者と楽しむようになる。 ・泥で見立て遊びをするようになる。
４歳	・自分の思いを伝えたり友達の話を聞きながら、一緒につくる等、活動することを喜ぶようになる。
５歳 前半	・全身で関わる楽しさを味わう。 ・同じイメージをもってつくり、協力してつくり上げることを喜ぶようになる。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・水や砂、土に触れてその不思議さに気付く。 ・用具を使って水を流して遊ぶ中で、自然の法則に気付いたり、砂や水がもつ特性に気付いたりする。 ・水が思うように流れないなど、失敗しても様々な方法を繰り返し試す中で発見したり達成感を味わったりする。	・友達と一緒に活動し、言葉を使って伝え合う中で、多様な考えなどに触れ、新しい考えを生み出す喜びや楽しさを感じる。	・友達と一緒につくるという「目的に向かって協同する際、目的の共有をしたり、協力、折り合いをつけたりする。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
	○	○	◎	○	○	◎	◎	◎	○	◎

遊びや学びのプロセス

・バケツ、とい、ジョウロ等様々な道具を使い、友達と共通の目的をもって遊ぶようになる。
・水がうまく流れるにはどうしたらいいか、友達と一緒に考えたり相談したり試したりしながら遊びを進め、水を止めたり流したりして協力しながら遊ぶようになる。
・遊びの中で自然と役割が決まり、同じ目的に向かって協力し、達成感を味わう。

環境・援助のポイント

・遊びに必要なものを準備する。（バケツ、とい、ペットボトル、ジョウロ等）
・子供の気付きを大切にして、友達の考えの良さに気付いたり、集団の中でどの子も力を発揮できるようにする。
遊びが思うようにいかなくても、試行錯誤し、最後まであきらめないで、満足感や達成感を味わうことができるように、困ったときには一緒に考えるが、子供が決定して取り組めるようにする。

小学校のスタート カリキュラム	生活科「みずであそぼう」 図画工作科「すなやつちとなかよし」

文部科学省作成　参考資料

資料③

遊びや場面	ふれあい遊び（ゲーム）
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・大人とふれあいやスキンシップをとる中で、心地よさを感じる。
１歳	・一人遊びをしたり、周りの子と同じ場で遊んだりする。
２歳	・簡単な言葉のやり取りを通してふれあいを楽しむ。
３歳	・じゃんけん遊びを知り、繰り返し遊ぶことを楽しむようになる。
４歳	・自分の思いや考えを言葉で表す。 ・数の多少、大小などの意味が分かり、関心をもつようになる。
５歳 前半	・勝った喜び、負けた悔しさを感じるようになる。 ・遊びの中で、数を数えたり、比較したりする。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする楽しさを味わう。 ・遊びの中で数や量を実感して捉える。	・したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりする。 ・自分の感覚から予想して、もっとよい方法を考え試す。	・遊びの中で、音楽やリズム、新しい言葉や表現などに触れ、これらを使う楽しさを味わう。 ・友達と一緒に勝った喜び負けた悔しさを共有し、充実感や満足感を味わう。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
			◎	○	○	◎	◎		◎	○

遊びや学びのプロセス

・クラスの友達と一緒にふれあい遊び（じゃんけん列車や椅子取りゲーム、金貨ゲームなど）をする楽しさを感じながら取り組むようになる。
・友達とのふれあいの中で、相手に対して思いを寄せたり大切な存在であると感じたりする。
・遊ぶ中で、数を相手との比較したり、「負けたけどさっきより頑張れた」などの以前の自分との比較をしたりし、変化や成果を感じる。
・仲間の中で自分が役に立った感覚（自分のおかげで…）や仲間に助けてもらった喜び（○○くんのおかげで…）を感じる。

環境・援助のポイント

・遊びの中で、一人一人が所属感や有用感を感じられるように、個々の頑張りや成果を確認していく。
・遊び込んできたら、個人戦ではなく、グループ対決をするなど発展していくことで、協同的な遊びにしていく。

小学校のスタート カリキュラム	生活科「みんなよろしくね」 算数科「いくつといくつ」 音楽科「うたであそぼう」

文部科学省作成　参考資料

資料④

遊びや場面	ごっこ遊び （ままごと遊びからお店屋さんごっこへ）
０歳	・身近な大人の動きを目で追ったり言葉を聞いたりする。
１歳	・人形をおんぶしたりあやしたりするなど保育者の真似を楽しむ。 ・ままごとセットや身近なもので保育者との見立て遊びを楽しむようになる。
２歳	・保育者や周りの子となりきり遊びやごっこ遊びを楽しむようになる。
３歳	・保育者や友達とままごと遊びやお店屋さんの簡単なやり取りを楽しむようになる。
４歳	・自分の役割を決めたお店屋さんごっこで友達同士のやり取りを楽しむようになる。
５歳 前半	・お店に必要な道具などに気付き、話し合い、様々な材料を使用し協力してつくるようになる。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・お店に必要なものに気付き、様々な材料の性質を活用しながら必要なものを工夫して作る。 ・日常生活の中である文字や数字を使ってみるとお店が本物らしくなり、楽しくなることを知る。	・保育者や店員の姿を観察して真似ることであいさつや言葉、動きを覚える。 ・やりたいことが友達と異なるときには、折り合いをつけながら様々な材料を使い、お店に必要なものや必要な決まりを相談して決める。	・つくりたいお店のイメージを友達と共有し、役割分担をしながらごっこ遊びを展開する。 ・相手の気持ちに気付き、自分の意見との折り合いがつけられるようになる。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
		○	◎	◎	○	◎	○		○	○

遊びや学びのプロセス

・見立て遊びやなりきり遊びを楽しむ。
・友達とイメージを共有しながら言葉のやり取りを楽しむようになる。
・友達と意見を出し合い、共通の目的に向かって考えたり、工夫したりするようになる。
・お互いの気持ちに気付き、折り合いをつけられるようにする。
・遊びに必要なものを自分たちでつくったり、本物らしさを求めてつくったもので遊ぶようになる。

環境・援助のポイント

・見立て遊びやなりきり遊びを十分楽しめるよう、自由に選択できる用具や素材、玩具を用意する。
・イメージの違いや相手の気持ちや方向性のズレが生じた場合、落ち着いた環境で話し合い、お互いの気持ちに気付けるようにする。

小学校のスタート カリキュラム	生活科「あきのおもちゃであそぼう」 図画工作科「ごちそうパーティをはじめよう」

文部科学省作成 参考資料

資料⑤

遊びや場面	製作遊び （空き箱や容器を使って）
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・身の回りのものに関心をもつ。
１歳	・指先を動かす。 ・色や形を認識するようになる。
２歳	・のりの感触を楽しむ。 ・保育者や友達を真似るようになる。
３歳	・つくったもので遊ぶようになる。 ・はさみやのりなどを使って簡単なものをつくるようになる。 ・見立てて遊ぶことを楽しむようになる。
４歳	・イメージを膨らませる。 ・イメージしたものを形にしようとする。
５歳 前半	・イメージしたものを形つくる楽しさを感じる。 ・自分たちで工夫したり、友達とイメージを共有して進めたりするようになる。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・様々な素材の特徴や表現の仕方に気付く。 ・遊びに必要な用具・素材を選び、使う中で。それらの性質や仕組みについて気付いたり、考えたりしながら楽しむ。	・自ら考え試行錯誤しながら、自分が想像したことを表現する喜びを感じる。 ・思いや考えを言葉にし、相手に伝える。	・役割を決めて遊ぶ中で、友達と一緒にやってできたという達成感を味わう。 ・友達と折り合いをつけながら、イメージを共有して遊びを進めていく。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
		○	◎	○		○	◎		○	◎

遊びや学びのプロセス

・夢中になって遊ぶ中で、自ら感じたり考えたりしたことを表現することを楽しむようになる。
・友達と一緒にイメージを膨らませ、見合う素材や用具を選び、つくり上げていく楽しさを感じるようになる。
・友達と一緒に遊ぶ楽しさや充実感を味わう。
・友達がつくったものの良さを感じたり、取り入れたりしようとする。

環境・援助のポイント

・子供がイメージしたものが実現できるように、必要な素材や用具を用意する。
・一緒に遊ぶ友達とイメージが共有しやすいように、画像や絵本、図鑑などを用意する。
・十分に遊び込むことができるように時間と場所を保障する。
・子供が考える過程や気付きを大切にし、自分たちでつくり上げていく楽しさを感じられるようにしていく。

小学校のスタート カリキュラム	生活科「あきのおもちゃをつくろう」 図画工作科「いろいろなはこから」 算数科「もののかたち」

文部科学省作成　参考資料

資料⑥

遊びや場面	運動会（行事）
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・寝返りやはいはいができるようになり、体を動かそうとする。
１歳	・自分の意志で自由に動けることを喜ぶ。
２歳	・進んで戸外に出て遊ぶようになる。
３歳	・周りの友達と一緒に同じ踊りや競技をする楽しさを感じるようになる。
４歳	・グループの一人として勝敗のある活動に関わる楽しさを感じるようになる。
５歳前半	・クラスの仲間と運動遊びに取り組む楽しさを感じるようになる。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・種目の内容やルールが分かり、種目に必要な動きを身に付ける。 ・共通の目標を達成するためには仲間と相談したり、助け合ったりすることが大切であることが分かる。	・勝つため、成功するためにどうしたらよいかみんなで考えを出し合う。 ・クラスの友達と体を使って表現する中で、掛け声や音楽でみんなの動きや気持ちを合わせる楽しさや必要性を感じ、繰り返し取り組む。	・うまくいかなくてもあきらめずに繰り返し取り組むことで目標に近づいていくことを感じる。 ・相手の立場や気持ちを理解しようとする。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
	◎	◎	◎	○		○	○			○

遊びや学びのプロセス

・運動会に向けてクラスやチームの仲間と共通の目的をもつようになる。
・話し合いや気持ちを合わせることの大切さを感じながら活動を進めるようになる。
・体を思い切り動かすことを楽しむ中で、難しいことにも仲間と協力することで乗り越えられることを感じる。
・自分の力を発揮したり、友達の良さを認め合ったりしながら、協力して遊ぶ楽しさや充実感を味わう。

環境・援助のポイント

・クラスの仲間同士やクラス全体が協力する大切さを感じられるような競技内容となるよう検討する。
・クラスのみんなでどんな運動会にしたいか話し合い、クラスの目標や運動会までの見通しをもつ。途中、振り返りの時間を持ちながら進捗状況をみんなで確認していく。
・葛藤を通して、互いを批判せず励まし合うことで成功に近づいていくことが感じられるように取り組みを見守る。

小学校のスタートカリキュラム	学校行事：運動会 体育科「かけっこ・リレー」

文部科学省作成　参考資料

資料⑦

遊びや場面	係の活動 （生活の場を整える）
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・清潔な環境の中で生活する。 ・身の回りのことや物に関心をもつようになる。
１歳	・自分の物が分かるようになる。
２歳	・遊んだ後の片付けをする。
３歳	・自分が遊んだ場所を自分で片付けようとする。
４歳	・生活や遊びに必要なものを自分で用意したり片付けたりする。
５歳 前半	・年長になり、園のいろいろな場所を掃除する心地よさを感じる。 ・整理整頓をしたり物を大切にしたりする。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・様々な箇所の清掃を行う中で、掃除用具の正しい扱い方が分かる。	・時間内に清掃を終わらせるには、どのような手順で進めていったらよいか、グループの仲間と相談し役割分担をして取り組む。	・公共の物を大切にする気持ちをもつ。 ・身の回りを整える心地よさを感じる。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
	◎	◎	○	◎	◎	○			○	

遊びや学びのプロセス

・園内の分担された場所を係ごとに責任をもって掃除をする。
・自分たちで生活を進めていくことに自信をもったり、役立ち感を感じたりするようになる。
・必要感を感じて主体的に取り組むようになる。

環境・援助のポイント

・園内で掃除が必要な場所をクラスで話し合うことで、クラス活動が子供の主体的な活動となるようにする。
・グループ毎に責任をもって決められた場所をきれいにすることを意識できるようにする。
・時間内に見通しをもって掃除を済ませるための時間の感覚を養う。

小学校のスタート カリキュラム	学級活動：クラスにはどんなしごとがあるかな？ 道徳科「たのしいまいにち」（価値項目：節度、節制）

文部科学省作成　参考資料

資料⑧

遊びや場面	めあてをもって取り組む遊び （お正月遊びや体づくりなど）
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・動くものや光るものを目で追おうとする。
１歳	・身の回りの人の動きや表情を模倣するようになる。 ・何でも自分でやりたがる。
２歳	・新しいものやことに興味をもって関わり、試したり確かめたりするようになる。 ・自分のやりたい遊びを楽しむようになる。
３歳	・楽しいと感じたことに繰り返し取り組むようになる。 ・みんなから認められることに喜びを感じる。
４歳	・初めてのことや苦手なことも励まされるとやってみようとする。 ・失敗しても繰り返し取り組み、達成感や意欲をもつようになる。 ・友達の様子に刺激され、自分もやってみようとする。
５歳 前半	・考えたり試したりしてじっくり遊ぶようになる。 ・周囲の励ましにより、目的に向かってあきらめずにやり遂げようと頑張る。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・遊びの中で数を数えたり、比較したりする。	・友達の姿を見てどのようにすればうまくできるか考えながら取り組む。 ・うまくいかないことを保育者や友達に尋ね、アドバイスをもらう。	・保育者や友達に教えてもらった方法やコツを取り入れ、繰り返し挑戦する。 ・めあてに向けて粘り強く挑戦を続ける。 ・友達や保育者に励まされたり、認められたりすることで、より意欲的に取り組もうとする。 ・相手の立場に立って分かりやすく教えたり、友達ができるようになったことを自分のことのように喜んだりする。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
	◎	◎		◎		○	◎		○	

遊びや学びのプロセス

・自分のめあてをもってお正月遊びや体づくり（こまや縄跳び、竹馬など）に取り組むようになる。
・友達の取り組んでいる姿を見て自分のことのように喜んだり、励ましたり、分かりやすく教えたりする。
・できたうれしさや充実感から更に自分で課題を設定し、もっと難しいことに挑戦しようとする。

環境・援助のポイント

・自分のめあてに向けてじっくりと取り組む時間を保障し、達成感が感じられるようにする。
・一人一人のめあてに向かって取り組む過程を見守り、認めていく。
・友達の姿に刺激を受けて自分もやってみたいと感じたり、頑張っている姿を認め合ったりするための場を設定する。またクラス活動の中にも取り入れたりする。

小学校のスタート カリキュラム	体育科「体づくりの運動遊び」

文部科学省作成　参考資料

資料⑨

遊びや場面	花や野菜を育てよう
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・周りの大人から声を掛けてもらったり、触れさせてもらったりすることを喜ぶ。
１歳	・花や野菜に触れたり、野菜そのものの味を知る。 ・様々な形や色、手触りのものに触れる。
２歳	・大人とのやりとりから野菜の形や色などの特徴に気付くようになる。 ・興味をもって関わり、試したり確かめたりする。
３歳	・大人と一緒に植物の世話をすることを喜ぶ。
４歳	・種や球根から植物を育てることに関心をもつようになる。
５歳 前半	・花や野菜の生長を楽しみに栽培をするようになる。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・花や野菜の特徴や育て方を調べ、友達と一緒に何を育てたいか決め、栽培の計画を立てる。 ・野菜を育てる過程で、自然の不思議さ、美しさなどに気付く。	・花や野菜の世話を行う中で、生長の様子や変化を観察したり、世話をしたりする。 ・問題が発生した時には、本などで調べたり知識のある人に聞いたりして、よりよい世話の仕方を考える。	・自分の気付きを言葉にして互いに伝え合う中で、様々な感じ方があることに気付き、受け入れる。 ・野菜の生長に興味をもって見たり触れたりする。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
	○		◎	○		◎	◎	◎	○	

遊びや学びのプロセス

・育てたい野菜をグループや友達同士で決め、一緒に育て方を考えるようになる。
・愛情をもって世話をする中で、互いの発見や気付きを共有し、野菜の生長を楽しみにする。

環境・援助のポイント

・育てたい野菜を友達と決め、自分たちで協力して育てていくことを投げ掛ける。
・花や野菜の生長から感じたことや発見したことを伝え合ったり、花や野菜の生長過程や収穫、種子とりなどのを喜び合ったりする機会を作る。
・花や野菜の生長の様子を写真等を用いて表示し、生長の過程がより分かるようにする。

小学校のスタート カリキュラム	生活科「きれいなはなをさかせよう」 国語科「おおきく　なったよ」

文部科学省作成　参考資料

資料⑩

遊びや場面	リズム遊び （音を聞いて体を動かす）
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・音や声に反応し、手足や体を動かすようになる。 ・あやし遊びに機嫌よく応じたり、歌やリズムに合わせて手足や体を動かして楽しんだりする。 ・寝返りやはいはいなどができるようになる。
１歳	・身体のバランスを取り、安定した姿勢で歩行するようになる。 ・リズムに合わせて身体に触れてもらいながら身体を意識するようになる。 ・語り掛けるような調子の短い歌を喜ぶようになる。
２歳	・心地よい音に合わせて感じたままに体を動かすようになる。 ・好きな歌に合わせて手拍子をしたり、感じたままに体を動かしたりして楽しむようになる。
３歳	・体のバランスを取りながら移動するようになる。 ・口ずさんだり思いのままに歌ったりすることを楽しむようになる。
４歳	・歌や音に合わせて身振りや動きなどで表現することを楽しむ。 ・簡単な歌や曲に合わせてリズム遊びをすることを楽しむようになる。
５歳 前半	・友達と一緒に表現する楽しさを味わう。 ・複数の動きを連続してできるようになる。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・歌を歌ったり、音楽に合わせて体を動かしたりする楽しさを味わう。	・音や音楽で遊び、感じたことや考えたことを自分なりに工夫して表現する。 ・友達の表現を見ることで、自分の表現方法を客観的に見つめたり考え直したりして新しい考えを生み出す喜びを味わう。	・音や音楽で遊ぶ中で、友達と一緒に表現する充実感やみんなで遊ぶ満足感を味わう。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
	◎	○	◎	○	○	◎	○			◎

遊びや学びのプロセス

・友達と一緒に感じたことを表現するようになる。
・友達の表現を認めたり取り入れたりしようとする。
・人の話を注意して聞いたり思いや考えを言葉で表現したりして、伝え合う喜びを感じるようになる。

環境・援助のポイント

・自分の思いやをのびのびと表現する心地よさや充実感を受け止め、必要に応じて助言をしたり共に取り組んだりする。
・子供の感性を認めたり周りに知らせたりし、自信や喜びを感じられるようにする。
・自分の言葉で表現しようとする意欲を大切にし、相手に分かるような言葉で伝えられるように援助をする。また、言葉を通して友達と考えを伝え合う経験を大切にし、子供同士の自立的な話し合いの状況を作るようにする。

小学校のスタート カリキュラム	音楽科「おんがくにあわせてうごこう」 体育科「表現リズム遊び」 学級活動：わくわく発表会を楽しもう

文部科学省作成　参考資料

資料⑪

遊びや場面	園外散歩 （交通ルールを守りながら）
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・戸外に連れて行ってもらうことを喜ぶ。
１歳	・探索活動が活発になる。
２歳	・安心できる大人と手をつないで散歩をしたり、安全に移動したりするようになる。
３歳	・道の歩き方などを大人と一緒に行動することで知る。
４歳	・信号機や標識の意味や道路の歩き方などの交通ルールが分かり、守ろうとする。
５歳 前半	・交通ルールが分かり気を付けて行動するようになる。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・日常生活で必要な交通ルールを知る。	・横断歩道を渡る時、信号機の色を見て保育者の問い掛けにどのように行動すればよいか考える。	・地域の人に保育者と一緒に挨拶をし、応えてもらうことで、満足感を味わう。 ・ルールを守って楽しく安心して生活したり、安全に散歩をしたりしようとする。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
	◎			◎	○	◎	○			

遊びや学びのプロセス

・交通ルールを守り、安全に気を付けたり、友達と声を掛け合ったりするようになる。
・約束事の必要感を感じるようになる。

環境・援助のポイント

・必要なルールを一緒に考え自ら守ろうとする姿を育む。（手を挙げて渡る、歩道からはみ出ない、順番を守るなど）
・周囲の状況が安全であるか確認するように繰り返し声を掛けていく。

小学校のスタート カリキュラム	生活科「つうがくろをあるこう」 学校行事：交通安全教室

文部科学省作成　参考資料

資料⑫

遊びや場面	自然に触れて
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・戸外に連れて行ってもらうことを喜び、保育者の声掛けで周りの景色を見るようになる。 ・目に入った物を指さしや喃語で伝える。
１歳	・自分が見つけた物を仕草や片言で保育者に伝える。 ・自然の中にいる気持ちよさを感じる。
２歳	・自然の様々な事象や変化などに興味をもつようになる。 ・自分の気付き、思いを少しずつ友達に伝え合うようになる。
３歳	・自然物を取り入れて遊ぶことを楽しむようになる。
４歳	・自然の美しさや不思議さに興味や関心をもつ。
５歳 前半	・季節によって自然が変化することに気付く。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・植物に触れ、季節ごとの葉の色や感触の違いに気付く。 ・自然物に触れ、肌触りや硬さの違いを知る。	・自然物を遊びに取り入れ、考えたり、試したりして遊びを創り出す楽しさや喜びを味わう。	・花の色や大きさなどに興味をもち、感じたことを言葉で表現しようとする。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
	○					○	◎	◎		◎

遊びや学びのプロセス

・自然の変化や季節の移り変わりを感じたり、気付いたりする。（気温の変化や木々の色付き、風の強さや空の色など）
・散歩中の気付きを友達同士で伝え合い、会話を楽しむようになる。
・自然事象を遊びに取り入れ、考えたり、試したりしてじっくりと遊ぶようになる。

環境・援助のポイント

・子供が自分で気付いていけるような声掛けをする。
・子供たちの興味や関心を見逃さず共感し、「なぜ？」「なに？」の気持ちをもてるようにする
・子供が発する言葉を汲み取り、保育者と子供、さらに子供同士の会話を楽しめるようにする。

小学校のスタート カリキュラム	生活科「きれいなはなをさかせよう」「あきをさがそう」「ふゆをたのしもう」 学校行事：遠足

文部科学省作成　参考資料

資料⑬

遊びや場面	絵本に親しむ
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・大人の膝に入り、絵本を読んでもらう心地よさを感じる。 ・読み手とのつながりを感じ、安心感をもつ。
１歳	・気に入った絵本を繰り返し読んでもらうことを楽しむ。 ・繰り返しの言葉のやり取りや模倣を楽しむ。
２歳	・保育者が仲立ちとなり、気に入った絵本の簡単な言葉のやり取りをしたり、繰り返しの台詞を言ったりしてごっこ遊びを楽しむ。
３歳	・自分の好きな絵本ができる。 ・絵本と自分の生活を重ね合わせたり、友達と登場人物になったりして、遊ぶことを楽しむ。
４歳	・物語の世界を楽しみ、想像の世界に思いを巡らせいろいろな感情に気付く。
５歳 前半	・お話の世界に思いを寄せ、遊びに取り入れることを楽しむようになる。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・人の話を意識して聞いたり、自分の思いや考えを言葉で表現したりし、伝え合う喜びを感じる。	・一緒に遊ぶ仲間と役割分担をし、協力して遊ぶ中で新しい考えやイメージを生み出す喜びや楽しさを味わう。	・絵本に親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わう。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
			◎			◎	○			◎

遊びや学びのプロセス

・絵本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像する楽しさを味わうようになる。
・季節に合った絵本の中から、好きな絵本を繰り返し読むようになる。
・ストーリーの内容や言葉を覚えて表現しようとする。
・小道具を用意すると役になりきり、言葉のやり取りや演じることを楽しむ。

環境・援助のポイント

・子供の興味や関心を広げるよう、様々なジャンルの絵本や物語に出会えるようにする。
・遊びに取り入れる中で、必要なもの（小道具や大道具）が作れる材料や道具を用意しておく。

小学校のスタート カリキュラム	生活科「がっこうでみつけたことをつたえよう」「あたらしい１ねんせいにつたえよう」 国語科「どんなおはなしかな」

文部科学省作成　参考資料

資料⑭

遊びや場面	ルールのある遊び （体を動かす遊び）
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・寝返り、お座り、はいはい、つかまり立ち、伝い歩きなど発育に応じて遊びの中で体を十分に動かす。 ・安心できる関係の下で身近な大人と遊ぶ。
１歳	・自分の意志で自由に動き、探索活動を楽しむ。 ・自分でやってみようとする気持ちが出てくる。 ・同年代の子供と、同じ場所で一人遊びを楽しむ。
２歳	・友達のしていることに興味をもち、やってみようとする。 ・保育者が仲立ちとなり、生活や遊びの中で友達との言葉のやり取りを楽しむ。
３歳	・簡単なルールのある遊びを楽しむ中で、ルールを無視したり自己主張やけんかをしたりして、遊びが中断することも増えてくる。
４歳	・好きな友達同士で遊ぶ中で、ルールを守ると楽しく遊べることに気付くようになる。
５歳 前半	・集団でルールを共有し、力を出し切って競争することの楽しさを感じる。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・様々な遊びの中で、複数の動きを連続的に行うことができるようになる。 ・楽しく遊ぶためには、ルールを守る必要があることが分かる。	・ルールを守る必要性が分かり、自分たちでルールを考えたり、発展させたりして遊ぶ。 ・どうしたら勝てるのか、安全に遊べるのか、楽しく遊べるのかなどを自分たちで考えてたり、伝え合ったりしながら遊ぶ。	・自分の力を発揮したり、友達の良さを認め合ったりしながら、協力して遊ぶ楽しさや充実感を味わう。 ・自分の気持ちを調整し、友達と折り合いをつけながら、ルールをつくったり守ったりする。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
	◎	○	◎	◎	○	◎	○		○	

遊びや学びのプロセス

・勝敗のある遊びを楽しみ、友達とルールを考えたり作戦を立てたりして遊ぶようになる。（ドッジボール、鬼ごっこなど）
・自分たちで遊びに必要なルールや約束事を考えたり、決めたりしながら友達と遊びを進めるようになる。
・友達と誘い合って遊び、お互いに認め合ったり励まし合ったりしながら楽しむようになる。

環境・援助のポイント

・問題やトラブルに直面したときはすぐに仲立ちせず、子供同士で話し合い解決しようとする姿を見守り、困ったときには方向付けをしたりするなど、適切な援助をする。
・勝敗のある遊びでは、勝った喜びや負けた悔しさに共感していく中で、友達の良い所に気付き認めたり、次は勝てるために考えたり工夫したりする姿を見守り必要に応じてアドバイスしていく。

小学校のスタート カリキュラム	生活科「みんなであそぼう」 体育科「ボールゲーム・おにあそび」

文部科学省作成　参考資料

資料⑮

遊びや場面	生き物を育てよう
接続期までの遊びや学びのプロセス	
０歳	・動く虫に興味をもつ。 ・周りの大人が生き物に接したり、大切にしたりする姿に興味をもつ。
１歳	・身近な生き物に触れようとする。 ・大人や大きい子に触れさせてもらう。
２歳	・身近な生き物を自分でつかまえる。 ・大人が生き物の世話をしている姿を見たり、手伝ったりする。
３歳	・つかまえた生き物を大人や友達と一緒に世話することを喜ぶようになる。
４歳	・保育者の声掛けのもと、エサやりや飼育ケースの掃除をする。
５歳 前半	・自ら成長に気付いたり世話をしようとしたりする。

【接続期】５歳児後半

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	学びに向かう力、人間性等
・図鑑や絵本などで生き物の飼育の仕方を調べたり、環境をつくったりする。 ・生き物には命があることが分かる。	・世話の仕方や成長の様子を友達と言葉で伝え合うことを楽しむ。 ・飼育に関わったときの気持ちや思いを自分の言葉で表現する。	・生き物の命の尊さに気付き、大切に育てようとする。 ・成長の様子を観察し、日々の変化に興味や関心をもつ。

幼児期の終わりまでに育ってほしい１０の姿	健康	自立心	協同性	道徳性	社会生活	言葉	思考力	自然	数量・図形	感性と表現
			○	◎		◎	○	◎		◎

遊びや学びのプロセス

・変化や成長を楽しみに世話をする。
・飼育方法を調べたり、友達と一緒に世話をしながら生き物の様子を観察するようになる。
・愛情をもって世話をしたり、命の尊さを感じたりする。

環境・援助のポイント

・自分たちで生き物の飼育の仕方を調べたり、環境をつくったりできるように、図鑑や絵本などを置いておく。

小学校のスタート カリキュラム	生活科「いきものとなかよし」「きれいなはなをさかせよう」 国語科「しらせたいな　みせたいな」 道徳科「みんないきてる」（価値項目：生命尊重）

文部科学省作成　参考資料

参考資料作成に関わった関係者（参加時の役職等で表記）

＜令和5年度浜松市幼児教育推進協議会委員＞

静岡大学大学院教育学研究科准教授	島田　桂吾	（学識経験者）	令和6年度継続
まつばこども園　園長	山田　佳敬	（認定こども園）	令和6年度継続
平成幼稚園　園長	菅原　由美	（私立幼稚園）	
浜松市立赤佐幼稚園　園長	早河　圭介	（市立幼稚園）	
まつのき保育園　園長	竹内　映晴	（私立保育所）	令和6年度継続
浜松市立寺島保育園　園長	鈴木　朋子	（市立保育所）	
あいあい保育ルーム　園長	島田　さち子	（地域型保育事業所）	令和6年度継続
エンゼル保育園　園長	神尾　恵美子	（認証保育所）	
浜松市立中ノ町小学校　校長	河合　享子	（小学校）	令和6年度継続
保育園保護者代表	根本　麻貴	（保護者）	
幼稚園保護者代表	佐々木 大樹	（保護者）	
浜松市こども家庭部長	吉積　慶太		令和6年度継続
浜松市教育委員会　学校教育部長	奥家　章夫		令和6年度継続
浜松市教育委員会　学校教育部　指導課長	内山　圭子		

＜令和6年度浜松市幼児教育推進協議会委員＞

浜松学院大学付属幼稚園　園長	山﨑　亜佐美	（私立幼稚園）
浜松市立伊平幼稚園　園長	恩田　かおり	（市立幼稚園）
浜松市立三方原保育園　園長	伊藤　寿美	（市立保育所）
ハレルヤ愛児園　副園長	鈴木　波穂	（認証保育所）
保育園・こども園保護者代表	大橋　美弥	（保護者）
幼稚園保護者代表	名倉　哲也	（保護者）
浜松市教育委員会　学校教育部　教育センター所長	青島　治道	

＜令和5年度浜松市幼児教育推進協議会ワーキンググループメンバー＞

入野こども園　副園長	中村　満寿恵	（認定こども園）
青葉幼稚園　教諭	松下　佳世	（私立幼稚園）
愛恵保育園　主任	山下　加代	（私立保育園）
あいあい保育ルーム　副主任	寺田　菊江	（地域型保育事業所）
はぐみな保育園　保育士	伊藤　往子	（認証保育所）
北浜東幼稚園　主任	吉岡　望	（市立幼稚園）
鴨江保育園　副主幹	島田　史子	（市立保育園）
金指小学校　教頭	縣　倫子	（小学校）

＜作成協力＞

浜松市教育委員会　学校教育部　教育センター　指導主事（令和6年度）

浜松市教育委員会　学校教育部　指導課　指導主事（令和5年度）

河合　祥悟

浜松市

浜松市　幼児教育の指針「幼児期に育てたい力」
教職員用指導資料　補助資料
浜松市版「つながる」カリキュラム参考資料
令和6年度10月発行
【監修】浜松市こども家庭部　幼保運営課
〒430-0933　浜松市中央区鍛冶町100－1
ザザシティ浜松中央館5階
TEL：053-457-2117
Eメール：u-youho@city.hamamatsu.shizuoka.jp